

夏休みに入り、各地のビーチは海水浴を楽しむ家族連れなどでにぎわいをみせています。また、スキュー、バーダイビング、サーフィン、カヌー、シユノーケリング等のマリンレジャーを楽しむため本県を訪れる観光客も増加しつつあります。

本来とても楽しく素晴らしいマリンレジャーですが、ちょっとした不注意や油断で思わぬ事故に遭うケースが後を絶ちません。特に今年は、例年にも増して観光客によるシユノーケリング中の事故が目立ちます。県警察の



伊波 盛春

夏休みに入り、各地のビーチは海水浴を楽しむ家族連れなどでにぎわいをみせていました。また、スキーパーク、ダイビング、サーフィン、カヌー、シュノーケelingなど、多くの人、前年対比で十八件、八人増と大幅に増えています。

統計によると、県内における水難事故は本年八月十四日現在、三十九件発生、死者二十二人、前年対比で十八件、八人増と大幅に増えています。

観光・リゾート立県を目指す本県のイメージダウンにもつながりかねず観光振興の面からも憂慮されます。

この五原則とは、一つ目は、ライフジャケット、ウエットスーツなどを着用して浮力を確保することです。何らかのトラブルが発生した時に水面に浮いて

めに極めて重要であります。

しいと言えます。肺や心臓などの循環器系の障害や血圧に異常のある人、病中病後、術後間もない方のシユノーケリングは大変危険です。

団では、県警察と連携して五原則の広報啓発を推進していますが、なかなか浸透しないのが現状であります。特に観光客に対するPR不足は否めません。

水難防ぐ安全対策5原則

多発するシユノーケリング事故

死者のうち、シニアヒヨーリーでは、シニアヒヨーリーによる水難事故を防止する方策として、平成十八年度から「シユノーケリング安全対策五原則」の周知徹底を図る活動を推進しています。また、シユノーケリング中の死者のうち、七人（死因不明）は観光客であります。水難事故の多発は、シユノーケリングによるものと見なされています。

い」として助かる口能性が高くなります。二つ目は、単独で泳がないことです。バデイシステム（二人一組）は、海中でお互いに安全を確かめ、トラブルの時に助け合った用方法のレッスンを受けることが大切です。四つ目は、飲酒後・体調不良時は事故のもとです。飲酒でのシユノーリングは自殺行為に等

と
情事収集を十分に行うことが重要です。
これは過去の事故原因の分析に基づき策定したもので、これを守れば、シユノーケリングによる事故はほとんど防止できます。当財

県民や街の客に来て
対してPRしていくだ
くようお願いするもの
であります。

レクリンク等のマリン
レジャーを楽しむため
本県を訪れる観光客も
増加しつつあります。
本来とも楽しく素
晴らしいマリンレジャー

多発する

シユノーケリン ぐ安全対策

第六章 灾害事故の発生と対応

第5節 沖合への流れによる危険

め、各市町村、観光関連業者、マリンレジャー関連業者等が「シミュレーションの安全対策五原則」の順守につ

いいと言えます。肺や心臓などの循環器系の障害や血圧に異常のある人、病中病後、術後間もない方のシュノーケリングは大変危険です。

団では、県警察と連携して五原則の広報啓発を推進していますが、なかなか浸透しないのが現状であります。特に観光客に対するPR不足は否めません。

団では、県警察と連携して五原則の広報啓発を推進していますが、なかなか浸透しないのが現状であります。特に観光客に対するPR不足は否めません。

そこで、県当局はじめ、各市町村、観光関連業者、マリンレジャー関連業者等が「シユノーケリングの安全対策五原則」の順守について、県民や観光客に對してPRしていただきようお願いするものであります。

(うるま市、財団法人沖縄マリンレジャーセイフティービューロー
専務理事、61歳)